

特定非営利活動法人 学校図書館木質・活性化支援センター

設立趣旨書

1 趣 旨

学校図書館関係者（教師及びボランティアを含む学校図書館教育への協力者）は、子どもたちが自ら本を手にし、たのしみ読み・しらべ読み・ふれあい読み等多様な読書方法に親しみ、知性や感性を磨き豊かな人間性を培うことを願って、学校図書館経営に取り組んでいます。

これからの学校図書館は、「人」や「さまざまなメディアの資料」等も活用し、楽しく情報の収集や活用がなされる場として、また情報活用能力を高める場としての機能の充実が求められています。「読書活動」の一環として友だちとディスカッションしたり、情報を発信したりして、アイデアや知恵を創出する「学びの拠点」＝「ラーニング・コモンズ」への発展も期待されているのです。

一方、学校図書館環境の現状に着目すると、司書教諭の専任化並びに学校司書の配置や蔵書数の確保が急務のほか、未だ図書室と称されている築年経過による老朽化した部屋に、本が押し込まれた棚幅の低い書架が並んでいる状況を目にすることが多く、読書環境が充実しているとは言えません。学校図書館の環境整備を考える時、学び手の心が温まる利用しやすい活動空間を構築し、「子どもたちが行きたくなる学校図書館」への変容を目指す必要があります。

そこで私たちは、学校図書館を総合的に支援できるNPO法人の設立を決意するに至りました。

そして、以下の二つの重点課題に取り組んでいくことを目指します。

まず一つ目は、学校図書館の環境を明るくぬくもりのあるものにする事業です。そのために、コンクリートやスチールの無機質な環境に置かれている学校図書館を木質化することにより、木のぬくもりを感じる快適な空間を創出し、読書活動や利用活動を支援して児童・生徒の積極的な学びに寄与します。

二つ目は、森林県である奈良県産材の積極的な活用に向けていく事業です。学校図書館を木質化するにあたり、奈良県産の杉・檜の間伐材を利用することにより、地元林業の活性化が図れると考えます。まずは、木材の部材の有効利用になるような木製本立ての企画や販路拡大等、県産材の活用に向けての事業を進めます。

上記のような趣旨をもちまして、特定非営利活動法人を設立することによって、学校図書館の充実と活用、子どもの読書環境の整備及び県産材の利用促進を一層推進できるものと考えております。

2 申請に至るまでの経過

| | | | |
|-------|-----|-------------------|--------------------------------|
| 平成24年 | 5月 | 先進地視察「京都市立上賀茂小学校」 | |
| 同 | 24年 | 8月 | 学校図書館木質化支援研究会 企画 |
| 同 | 24年 | 10月 | 原稿寄稿「学校図書館を考える -学校図書館リモデルプラン-」 |
| | 同 | | 学校図書館木質化支援研究会 |
| 同 | 24年 | 11月 | 学校図書館木質化研究会 講師 平湯文夫 |
| | 同 | | 先進地視察「桜井市立桜井小学校」 |
| 同 | 25年 | 2月 | 学校図書館木質化研究会 講師 平湯文夫 |
| | 同 | | 現地視察見学会「五條市木材工業団地 トリスミ工場」 |
| | 同 | | NPO法人設立準備会 発足 |
| 同 | 年 | 4月 | NPO法人設立総会開催 |
| 同 | 年 | 7月25日 | NPO法人認可 |
| 同 | 年 | 8月2日 | NPO法人設立登記 |
| 同 | | 29日 | NPO法人創立総会（午後2時、県立図書情報館） |

平成25年8月5日

特定非営利活動法人 学校図書館木質・活性化支援センター理事長
藤井 フミ子

特定非営利活動法人

「学校図書館木質・活性化支援センター」役員

理事長：藤井フミ子・全国学校図書館協議会図書館活動推進委員

副理事長：荒木美久子・奈良県学校図書館協議会会長

理事：松川利広・奈良教育大学教職大学院教授

白須洋子・NPO法人子どもの人権総合研究所理事長

河瀬紀江・奈良子どもの本連絡会代表

出口隆司・奈良県PTA協議会会長

甲村侑男・奈良県木材協同組合連合会会長

藤山純一・奈良日日新聞社社長

監事：植松明夫・奈良県学校図書館協議会顧問

事務局：渡辺肇・奈良県学校図書館協議会事務局次長